

## 博物館と情報

一九六〇年代末、「情報化社会」という用語が政治や経済、或いは教育などの分野で広く使われるようになり、九〇年代になると、家庭でもコンピュータが普及し、インターネットなどの通信技術も急速に発達しました。今では情報を収集・蓄積し分析することが、個人単位でも当たり前の時代になっています。更にこれを公開し多くの人と共有することで、一挙に大量の情報を集め、それを基により精度の高い分析が可能となり、時に思わぬ発見が生み出されることもあります。

地域との関係を基盤に置く我々の活動もまた、「情報化」とは切っても切り離せない関係にあります。例えば、歴史資料の解説文、聞き取り調査の音声、風景や祭りを記録した動画など、博物館には大量の情報が蓄積されています。この貴重な情報を管理し活用するためには、適切な仕組み作りが不可欠です。

令和四(二〇二二)年、約七〇年ぶりに博物館法が改正され、情報の保存と活用が博物館の重点課題の一つとして掲げられました。情報問題を担当する調査員として、この大きな変化に対し、どのように対応していくか具体的な検討を始めています。

情報の効率的活用には、膨大な情報を一定のルールで入力し、その内容を的確に整理する必要があります。そのための機器やソフトの選択、ルール作りなど検討すべき課題は山積しています。加えて、博物館の職員だけでなく、博物館を取り巻く様々な社会と共有するシステムまでを視野に入れておかななくてはなりません。これら一連の作業を通じて、改めて情報問題の奥深さと難しさを実感する毎日です。

「文化情報学」・「図書館情報学」・「社会情報学」・「生命情報学」など、今や「情報」は学問の一つとして様々な分野で研究が進められています。我々もその成果に学びながら、「博物館の情報学」を模索していきたいと思っています。

(主任調査員 岡本 麻衣)

## 城博の活動

## 「地域文化講座」の開講

歴史博物館として「過去」を振り返ったその足で、必ず地域の「今」を歩き直す。それが地域企画課です。本講座は、その実践講座として企画されました。

第一回(熊本大学永青文庫研究センター・今村直樹准教授)では、現在の集落の基になった江戸時代の村の構造を知り、第二回(当館・渡部淳)では村の神社の調査方法を紹介しました。第三回(高知大学人文社会科学部・岩佐和幸教授)は、視点を現在に移して、戦後の過疎問題を社会科学の視点から採り上げ、第四回では、地域で実践されている歴史調査やコミュニティ活動の報告を予定しています。

過去と現在、理論と実践、人文科学と社会科学。歴史の流れの中で「今」を総合的に考える方法を模索する実験的講座です。参加者の意見を反映させながら、大切に育てていきたいと思っています。(館長 渡部 淳)



第二回講座 神社巡見

## 地域の取り組み

## 「立川体験交流の会」

高知県長岡郡大豊町立川地区の住民グループ「立川体験交流の会」は、立川地区を舞台に、二〇年以上にわたり、地域の魅力を発信している団体です。同会は、地場産の食材を使った郷土料理や自然体験、地元散策や文化催事などの活動を行っています。

去る九月二一日に行われた「立川番所 御殿の夕べ」では、高知城博に集合した二五名の参加者が、大豊町役場のバスに乗って立川へ移動しました。現地では、まず、国境に関する当館のミニ講座、立川番所保存会の案内による付近の参道散策、番所書院の見学がありました。続いて、交流の会による丸太切りやお薄点で体験ののち、銀プロウ寿司や立川そばなどの郷土料理を味わい、最後に繁藤雅陽会による雅楽演奏を鑑賞しました。

他の団体や機関と協力して、このような多彩なプログラムを実現する同会の取り組みは、地域を盛り上げるひとつの形として、学ぶことが多く、今後も連携していきたいと思っています。

(主任学芸員 片岡 剛)



「ミニ散策会～龍馬青春の道～」案内



## 地域の調べ方



### 「農業集落調査」と 「高知県集落実態調査」

農林業の基本構造の実態と変化を明らかにし、施策の企画・推進のための基礎資料となる「農業集落センサス」は、昭和二五（一九五〇）年以来、五年ごとに実施されています。その作業の一つとして実施されているのが「農山村地域調査（農業集落調査）」です。「集落事情精通者」に調査を依頼して、寄合開催状況・地域活動・相互扶助機能等、更には、複数集落との共同や都市住民・学校・企業などとの連携状況までを聞き取るというもので、情報の比較・分析によって、地域社会の変容を把握することが出来る貴重な調査です。農林水産省は令和四（二〇二二）年、この調査の廃止を発表しましたが、学会をはじめとする猛反対を受けて、郵便アンケートによる継続に変更しました。ただ、その精度の低下を不安視する声もありません。

一方、過疎高齢化が急速に進む高知県では、平成二三（二〇一一）年度から、県内全域の中山間を中心とした五〇世帯以下の小規模集落を対象に、十年ごとに集落代表者への聞き取りと住民アンケート調査からなる、きめ細やかな「集落実態調査」を実施しています。結果、過疎化の加速と集落の小規模化、そして集落の存続そのものを危惧する住民の深刻な危機意識が明らかになり、地域対策の指針に大きな影響を与えました。

詳細は、農林水産庁及び高知県総合企画部中山間地域対策課のホームページをご参照ください。

（渡部 淳）

## 地域の言葉



### 「神社」

江戸時代の記録をひもとくと、村々には実に多くの神社や祠堂があり、江戸の村人達が、多種多様な神々の体系の中で、暮らしていたことが確認できます。

しかし、明治期の「神社明細帳」を見ると、神社の数は合祀等によって減少し、祭神名や社号に変更が加えられた例が多く見受けられます。これは、神仏分離政策以降、国家によって推し進められた宗教政策の結果です。

そして、戦後、いわゆる「国家神道」という政治的宗教体制は解体されましたが、高度成長期以降、過疎や高齢化などの社会的要因により、神社や祭の維持もままならぬ状況も起きています。

我々の地域調査は、このような神社の歴史の変遷を意識しながら進めています。江戸時代や明治時代の記録にも表れない路傍の祠も、見逃さず調べています。先祖神や農業神、時には疫病などから村を護る神々などが、生活空間に程近い小さな祠に祀られている場合が多く、それらから村人の細やかな生活のあり方を読み解くことができます。

（片岡 剛）

## 図書室



秋澤繁・荻慎一郎編

街道の日本史47「土佐と南海道」

（吉川弘文館二〇〇六）

本叢書は、日本列島において個性・文化的特色から五六の地域を設定し、各地で個性豊かな歴史を発見し、二十一世紀の内容豊かな日本史を切り開くべく刊行されました。その視点として陸海の交通路に着目し、「街道の日本史」と命名しました。目標として「地域史の創造」を提唱しています。

第四七巻の「土佐と南海道」では、土佐の地理と風土、歴史について、陸上交通から海上交通を歴史的背景として執筆されています。とりわけ近世における高知城と城下町の形成、土居付家老の変遷、農業村落・山分（山間部）・浦分（海浜部）での生活や社会経済史など興味深いテーマで執筆されています。

また、文化の諸相では地域における教育の伝統と遺産、自由民権思想の土台が記述され、民衆文化と民俗の土壌では、山村の生活文化・海での交易・遍路文化などの特色が記述されています。

本文中には、図・表や写真が多く掲載されており、本県の歴史や文化を新たな視点で理解するには最適な書といえます。

（嘱託調査員 黒石 哲夫）

## お知らせ

### ●土佐文化講座

日時：令和6年12月22日（日）13時30分～15時  
内容：「移住者・転勤者のための土佐文化講座～歴史・土佐弁・酒と料理～」  
講師：当館職員  
対象：県外出身の方（移住・転勤・進学などで高知在住の方）  
その他：〈会場〉高知県立高知城歴史博物館1階ホール／〈定員〉40名

### ●出張講座

日時：令和7年1月12日（日）13時30分～15時  
内容：「物部川流域 歴史と風景 ～一領具足・鎮守の杜・川と用水～」  
講師：渡部 淳（高知城歴史博物館館長）  
共催：香美市教育委員会  
その他：〈会場〉香美市立中央公民館1階大ホール／〈定員〉80名  
※いずれも要事前申込・先着順／参加費無料  
※電話・FAXにて申込受付（TEL：088-871-1629／FAX：088-871-1619）

## 地域企画課だより 第2号

発行日：令和6（2024）年11月  
編集・発行：高知県立高知城歴史博物館（地域企画課）  
〒780-0842 高知県高知市追手筋2丁目7-5  
TEL：088-871-1629／FAX：088-871-1619  
HP：https://www.kochi-johaku.jp/

## 活動日録

- 8月 ●夏休み児童クラブ出前講座（高知市内：3校、南国市内：1校）  
●南国市国府地区総合調査 第3回情報共有会議を開催  
●南国市国府地区総合調査 聞き取り調査を実施  
●南国市国府地区総合調査 総合的な学習授業（南国市立国府小学校）打合せ  
●「地域学芸員」養成講座 第3回を開催（県内3ヵ所）  
●高知まちゼミ実行委員会主催の親子まちゼミへ参加
- 9月 ●相談窓口対応（2件：本山町・安芸市）  
●地域資料相談（1件：南国市）  
●「地域学芸員」養成講座 第4回を開催（県内3ヵ所）  
●南国市国府地区総合調査（国分地区集会所）を実施  
●南国市国府地区総合調査 聞き取り調査を実施  
●立川体験交流の会主催「立川番所 御殿の夕べ」に協力  
●目録編成支援（津野町郷土資料館）合同調査及び研修を実施  
●相談窓口対応（1件：安芸市）  
●地域資料相談（1件：高知市）  
●「地域学芸員」養成講座 第5回を開催（県内3ヵ所）  
●地域文化講座 第2回を開催  
●「土佐藩・土居関係資料所蔵博物館連携協定」情報共有会を宿毛市にて開催  
●目録編成支援（津野町郷土資料館）合同調査及び研修を実施  
●南国市国府地区総合調査 総合的な学習授業（南国市立国府小学校）に協力
- 10月